

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

第61回新潟県公民館大会レポート

4.5

阿部 忠行 (上越市立公民館事業係長)

- 2 トピックス 関ブロ静岡大会参加レポート
- 3 視点 ふるさと
- 3 ひろば 心通わし、じっくり生きる
- 6 実践記録シリーズ 「親子で楽しく」～一泊二日の子ども会活動～
- 7 サークル交流 ただいま稽古中! (村上市) / 美しい響き合いを求めて (新発田市)
- 7 素顔拝見 山田 和史さん (見附市) / 松浦 直人さん (粟島浦村)



おすすのう
「大須戸能」(村上市)

表紙解説

大須戸能は、山形県鶴岡市の黒川能の流れを汲み、150年以上集落に伝承されてきた民族芸能です。

昭和30年に新潟県無形文化財に指定され、毎年、4月3日に八坂神社において神事能、8月15日には新能が演能されます。

第51回関東甲信越静公民館研究大会 事務局長 田原理

第51回関東甲信越静公民館研究大会が、8月19日(木)20日(金)静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」を会場に開催されました。気温が35度を超える猛暑の中、関東ブロックの各地から734人が参加しました。

新潟県からは15名が参加しました。3年後の平成25年には新潟が開催地(中越地区担当)となるため、今回はその視察を兼ねて参加しました。大会の全体報告と共にその運営にもふれてレポートします。

まず、今大会の運営の特徴は、一日目に「式典・講演・大会引き継ぎ、情報交換会」をすべて終わらせて、二日目は分科会のみという日程でした。この日程からヒントを得て、新潟・関プロでは

①全体会場と分科会場を別に設定する。
②全体会后、分科会ごとにホテルのマイクロバスで移動。情報交換会は分科会参加者が宿泊ホテルで、分科会は

翌日ホテルの会議室で行う。

この方式は初めての試みで、問題点も多いと思いますが、今秋に発足する大会準備委員会に提案して実現可能かを検討してもらおう考えです。



式典前にアトラクション

式典前には、静岡混声合唱団による「公民館の歌」他二曲が披露されました。

また、通常は閉会式に行われる「大会旗」の引き継ぎが、初日の最後のプ



初日に大会旗引き継ぎ

ログラムに盛り込んでいました。

時間を短縮するために、表彰式(①全国公民館連合会表彰 ②関東ブロック表彰)は代表だけの登壇でした。栄えある表彰なので全員を登壇させて授与するべきであると感じました。早く終わりますので、次の講演会開始まで45分も休憩がありました。

二日目の分科会は14分科会でしたが、100名参加の分科会があり討議が難しいと思いました。適正人数は30



表彰は代表者へ授与

人くらいが一番だと思います。

我が新潟県の担当分科会(発表者・土田館長、助言者・真柄校長、司会者・田原事務局長)は21名で、全員から発言があり活発な分科会となりました。

関プロの開催予定地は、

- 平成23年 茨城県
- 平成24年 長野県
- 平成25年 新潟県

です。新潟開催前年の長野大会で大会旗の引き継ぎを受け、次期開催地の挨拶をすることになります。開催準備を計画的に進めなければならない時期に来ています。

視点

ふるさと



新潟市大畑少年センター 所長 福島 實

新潟市大畑少年センターのキャッチフレーズは、「大都会の真ん中でテント泊」である。小・中学生にいわば初級の各種体験を提供している施設である。今年度は加えて、「ふるさと」を意識した事業展開に努めている。街中に住んでいる人や新潟の豊かな文化との交流を取り入れたプログラムを実施することにより、新潟市の子どもたちにも「ふるさとを実感」してもらいたいという思いからである。

オリエンテーリングのチェックポイントで、老舗の主人との対話や有名銘菓の味を楽しんだり、市立美術館で鑑賞や質問コーナーなどを設けたりと、人・文化との交流プログラムの開発に取り組んでいる。むろん自然体験活動もある。ふるさと日和田浜での海釣りでは、まめアジをてんぷらにして食す。なかなか人気の「冒険学校」の一つである。

何年か振りに社会教育の現場に入った。逆風はますます激しいと感じている。プロ意識を持った職員集団の形成に各所属長は尽力するときであるとも思っている。

H O T N E W S

掲 示 板

平成22年度中越地区公民館職員研修会開催

- 趣 旨 省略
- 主 題 社会構造の変化や住民意識の多様化に対応する公民館事業をどう進めればよいか
～住民の声を公民館事業に生かすグループワークの手法を学ぶⅡ～
- 主 催 中越地区公民館連絡協議会
- 共 催 新潟県公民館連合会
- 主 管 中越地区公民館連絡協議会主事部会
十日町市中央公民館・津南町公民館
- 期 日 平成22年9月17日(金)
- 会 場 十日町市千手中央コミュニティセンター
〒948-0144 十日町市水口沢76-7
TEL 025-768-2308 FAX 025-768-2340
- 日 程

9:30	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	15:00	16:00	16:10
受付	開会	オリエンテーション 理論講義	グループワーク①	昼食	グループワーク②	グループ発表	閉会	

 - 開会 10:00～10:20
開会のあいさつ 十日町市中央公民館長 広田 公男
講師の紹介 主事部会代表 池田 順一
 - 研修 10:30～16:00
 - 閉会 16:00～16:10
閉会・御礼のあいさつ 津南町公民館長 松縄 廣道
- 研修内容 ～本研修会は、公民館職員のための実務研修です～
(1) オリエンテーション 指導者講師による理論指導
(2) グループワーク1、2 指導者講師による実践指導
(3) グループ発表
- 指 導 者 宇都宮大学 生涯学習教育研究センター
佐々木 英和 准教授 様
- 参 加 費 無料
- 問い合わせ先 中越地区公民館連絡協議会事務局 渡邊 善則
中越教育事務所社会教育課内 電話 0258-38-2652

ひろば

心通わしじっくり生きる

長岡市公民館運営審議会委員 地引 永安

「あつちえ日での、申し訳けねーの。」K公民館高齢者教室開会の会長の気取らない挨拶と笑顔に好感。参加者はご婦人のみ十余名。平均年齢八十歳と聞いて驚嘆。「年間何回集まられていますか。」「そうだの十回位かな。楽しいです。今日は地引さんのおもしろい話と漬物を肴にして過ごします。アハハハ。」一体このパワーはどこから生まれるのか。

準備した昔の生活道具を資料に、当時の生活様式や人々のつながり方、村の成り立ちについてなどを話題としながら、参加者からも体験や思い出を自由に語っていただき、話を共有し深めていった。一人ひとりの人生の輝きと誇りを痛感し、また、この貴重な経験や話も若い世代に伝えられたらとも思った。

今回は改めて公民館活動の重要性を強く感得した。人々が寄り合い、結び合い縁を深める場としての公民館を育てたいものである。公運審委員としても色々ヒントを得る機会となった。「これはみんなの気持ちです。」と野菜を山ほど。充実の時間に感謝。



公民館大会レポート



○パネルディスカッション

午後からは「公民館は、激変する社会情勢に対応できるか?」をテーマに東北大学准教授の石井山竜平氏、新潟市坂井輪地区公民館運営審議会委員の郷扶二子氏、午前から引き続き吉田博彦氏の3人のパネリストと、コーディネーターとして新潟市立万代長嶺小学校校長の真柄正幸氏によるパネルディスカッションが行われました。

石井山さんはアジアの中で日本の公民館が目立っており、中でも韓国では生涯学習に多額な予算がついている。公民館は社会教育の専門性を住民と行政の接点部分としての役割として大事である。課題に立ち向かえる専門性が必要で頑張れる人は全国に仲間がいると話されました。

郷さんからは、利用者の立場から、公民館の講座は学校教育とは違い受講生が選択できること。同じ目的や悩みを持った仲間がいたこと。そこに少しだけ後押ししてくれた職員がいて自分を育ててくれたこと。自主サークルを作ったことなどの体験から、地域の人が集まり学び結びつく場所として公民館が大切であると話されました。



吉田さんからは、最近の公民館の講座は出席率を上げることを優先し、短い講座になっている。本当に価値のある講座が大切なこと。公民館の職員はプレゼンテーション能力をつけること。地域の課題を把握するため事務室にいないで外に出て行くこと。自分で全部やろうとしなくても、他を利用してよいこと。学んでいる人の周りには学びたい人が集まる。公民館職員は大いに勉強すること。などと話されました。

その後、会場からも質疑応答や意見が出され、活発なやりとりが行われました。地域の公民館がもっと活発になってほしいがそれには職員が少ない。有償であっても参加したくなるような事業を提供してほしい。などがその一部です。

最後に、今、市民と行政の共同が求められているが、認め合いの関係が必要である。市民の出番を作ることが大切で、その居場所が公民館であることが理想。今がチャンスの時で公民館職員は自信を持ってしっかりと課題を把握すること。そのためには仲間を持つことも大切。中身の衰退にならないようにと激励をもらい終了となりました。

＝おわりに＝

私こと、この4月に異動となり初めて本大会に参加しました。公民館職員としてプレゼンテーション能力をつけるためにもっと勉強しなければならないこと。もっと地域に出て、ときにはバカになって市民とふれあうことの大切さを痛感しました。

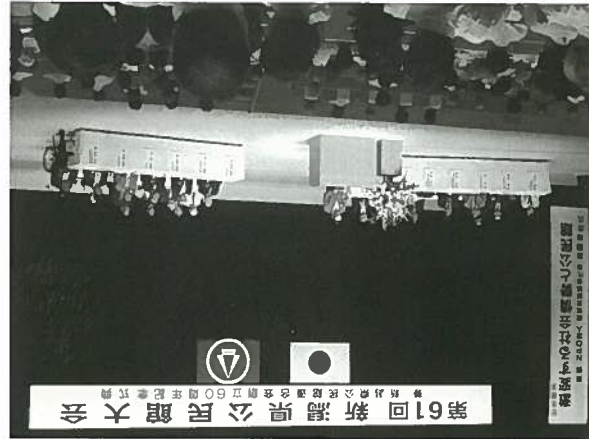
羨ましほどの素晴らしい会場での本大会は、大変有意義でした。また、大会関係者の皆様におかれましては、60周年記念式典も兼ねた大会であり、大変ご苦勞された事と思います。関係者の皆様に感謝を申し上げ、大会レポートとさせていただきます。

特集

第61回新潟県



上越市立公民館
事業係長
阿部 忠行



第61回新潟県公民館大会兼新潟県公民館連合会創立60周年記念式典が去る7月16日、新装となった新潟市北区文化会館において約450人が参加し盛大に開催されました。

○開会式、記念式典

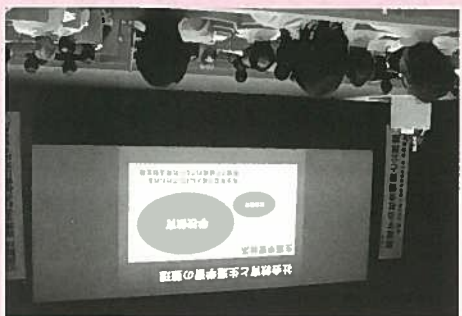
開会式と合わせ新潟県公民館連合会創立60周年記念式典が行われました。県知事表彰では個人表彰として粟島浦村中央公民館長の本保敦子様、団体表彰として下越地区公民館連絡協議会様が受賞されました。また新潟県公民館連合会永年勤続表彰では、公民館関係者8名が受賞されました。



○基調講演

基調講演では、「激変する社会情勢と公民館活動」と題し、特定非営利活動法人教育支援協会代表理事の吉田博彦様より講演を頂きました。

日本の社会構造が変化する中で地方から都市へ人口が集中、農村村部の農業や地場産業が衰退し地域社会が崩壊してきた。今、公民館活動はどのように対応し課題は何か？社会教育は必要なのか？新しい公共とは？などの問題が投げかけられました。新しい公共とは、例えば昔の小さな集落や自治単位において共同作業を行っていたが、その共同・扶助精神と似ている。公共を行政が独占するのではなく、企業やNPOをはじめ民間のさまざまな主体と行政が連携して「公」を作り出すことである。



これからの公民館は、新しい公共の概念をとりえ、民間の支えや地域住民のコーディネートとしての役割を担うことが大切である。1946年に出された「公民館の設置運営について」文部次官通達と「公民館設置要綱」を再確認し、時代は変わったが、自己責任を基本とした考え方は当時と変わった訳ではなく社会教育・公民館の使命はまさにそこにあると結びました。

○アトクシヨ

昼休みを利用し豊栄民謡連盟の皆さんによる「ざりがち唄」を、踊りを交え披露していただきました。大変ありがとうございました。

実践記録

150

シリーズ

「親子で楽しく」～一泊二日の子ども会活動～

新潟県立青少年研修センター 副参事 山田 秀樹

1 はじめに

県立青少年研修センターは、越前浜や角田山に隣接する恵まれた自然環境の中にあり、グラウンド、野外炊事場等の屋外施設に加え文化工芸棟も備え、アウトドア種目だけでなく陶芸やクラフトなども含め幅広い活動ができるようになっていきます。

当センターでは、4月から小中高校生の宿泊研修や企業の新人研修を、休日には、PTAや子ども会の日帰り研修や宿泊研修を実施しています。今回はPTAや地域の子どもの会の活動の中から、親子の活動例を紹介します。

2 子ども会の活動例

長岡市の才津三丁目・泉島子ども会は、「子どもたちが集団生活の中で、家庭では得がたい体験活動を行う」ことを目的に今回の研修を行いました。

日程は以下のとおりです。

(1) 1日目

- 11:30 入所
- 13:00 ウォークラリー
- 15:30 キャンプファイヤー準備
- 19:00 キャンプファイヤー

(2) 2日目

- 5:30 地引き網
- 9:00 まが玉作り
- 11:30 退所

①ウォークラリー

暑い中、親子一緒にグループをつくり、A B C D 4つのコースに挑戦しました。終了後には、「コマ図を見ながら行動することが大変だった」「コースを間違えて引き返したりしたけど、ゴールができて良かった」など様々な感想が寄せられました。

②キャンプファイヤー

親子が一緒になって、井げた組みやトーチを作って準備しました。本番では、燃える火を見つめながら、花火をしたり歌を歌ったり楽しく過ごしました。



③地引き網

朝、早起きをして、越前浜まで歩いて移動しました。当日は、海も穏やかで、無事実施することができました。眠い目をこすりながら、親子一緒になって網を引いた結果、思いがけない大漁でみんな大喜びでした。



④まが玉作り

石を削って、世界に一つだけのまが玉を作りました。削れば削るほど、子どもたちは熱中して時間が過ぎるのを忘れてしまうほどでした。

3 おわりに

長岡才津三丁目・泉島子ども会は、計画、準備、実施とその都度役員の方々がきめ細かく準備や支援を行うことで、最大限の成果を挙げていました。「全ての活動が楽しく、普段できないことができてとてもよい経験になりました。」と多くの参加者が感想を寄せていました。

これからの季節は、野外活動のベストシーズンです。上記以外にも楽しいプログラムがたくさんあります。荒天時の屋内活動も豊富です。どうぞ、公民館、PTA、子ども会等々、お気軽に県立青少年研修センターを利用していただきたいと思います。

新潟県立青少年研修センター

〒953-0012
新潟市西蒲区越前浜5597-1
巻駅よりバス10km
電話 0256 (77) 2111
FAX 0256 (77) 2114
<http://www.pref.niigata.lg.jp/seisyounen/>
E-mail mgt503030@pref.niigata.lg.jp

ら、あつちこちで「直人〇〇してくれ」という声がいとも聞こえて来る。気軽に感じる言葉に、ついやきもきして行くこともあるが、それが彼のいいところのみ込んでしまう。人当たりも良くやさしい気持ちの持ち主である直人さん。今日も忙しそうちに序内外をとり回っている。



主事 松浦 直人さん
栗島浦村教育委員会

父親が栗島出身のため、幼少の頃から栗島に遊びに来ていたという我が職場のアドバイザー松浦直人さん。まさか栗島役場に勤務することになろうとは夢にも思っていなかっただろう。栗島に来て早6年。若者の少ない栗島にとって、20代の貴重な存在だ。今では地域の一員として、又、職場の若手職員として活躍中。

自分の仕事以外のことも何でも頼まれれば嫌といえない性格か

男性料理教室は、自身も料理が得意なので講師の片腕として活躍しています。また、びっくりするくらい力持ち。それもそのハズ。小学校からはじめた剣道は4段の腕前。剣道で培った集中力と体力を存分に発揮できる職場公民館。和史くん、良かったね。あなたにぴったりの職場です。



主事 山田 和史さん
見附市中央公民館

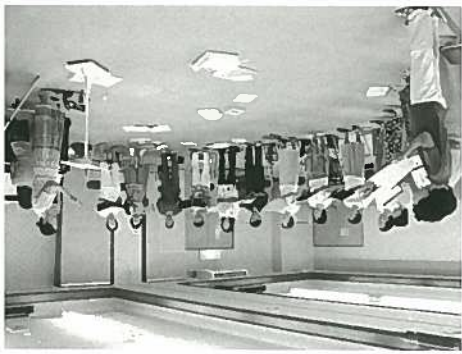
今年度4月から中央公民館に配属となりました山田和史さんを紹介します。公民館勤務は、初めですが、文化ホールにいたこともあり照明、音響を使う舞台作りはお手の物。それに仕事を覚えるのも早い！来館者からも「あなたは何年になつたね？」異動3ヶ月で既に何年もいるような...小学生対象の科学体験から男性料理教室まで、幅広い年代の講座を担当しています。

素顔 拝見

交際が栗島出身のため、幼少の頃から栗島に遊びに来ていたという我が職場のアドバイザー松浦直人さん。まさか栗島役場に勤務することになろうとは夢にも思っていなかっただろう。栗島に来て早6年。若者の少ない栗島にとって、20代の貴重な存在だ。今では地域の一員として、又、職場の若手職員として活躍中。

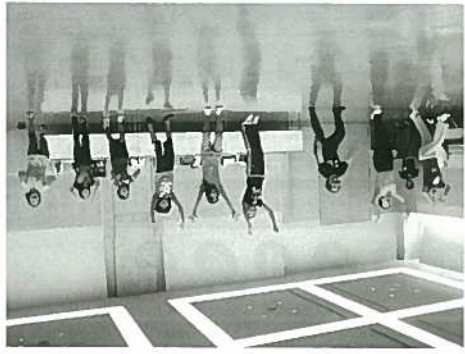
自分の仕事以外のことも何でも頼まれれば嫌といえない性格か

今年度4月から中央公民館に配属となりました山田和史さんを紹介します。公民館勤務は、初めですが、文化ホールにいたこともあり照明、音響を使う舞台作りはお手の物。それに仕事を覚えるのも早い！来館者からも「あなたは何年になつたね？」異動3ヶ月で既に何年もいるような...小学生対象の科学体験から男性料理教室まで、幅広い年代の講座を担当しています。



circle サークル交流

美ら島 美ら島 美ら島
UUTATE NAMI-UP



種目を占めて行う予定です。

村上市教育委員会生涯学習課 斎藤 悠輔 記

「美ら島 美ら島 美ら島」の掛け声は、地域の活性化を促す効果がある。また、高齢者の健康増進にも効果的。今後も、この活動を積極的に推進して行く予定です。

今年度4月から中央公民館に配属となりました山田和史さんを紹介します。公民館勤務は、初めですが、文化ホールにいたこともあり照明、音響を使う舞台作りはお手の物。それに仕事を覚えるのも早い！来館者からも「あなたは何年になつたね？」異動3ヶ月で既に何年もいるような...小学生対象の科学体験から男性料理教室まで、幅広い年代の講座を担当しています。

「美ら島 美ら島 美ら島」の掛け声は、地域の活性化を促す効果がある。また、高齢者の健康増進にも効果的。今後も、この活動を積極的に推進して行く予定です。

event information

平成23年度「第62回 新潟県公民館大会」は佐渡市で開催されます。このたび佐渡市から開催の概要が届き、会長、副会長で検討した結果、下記のとおりになりました。県内各地から多数の参加をお願いします。

- 1 **主催** 新潟県公民館連合会
下越地区公民館連絡協議会
- 2 **主管** 佐渡市公民館
- 3 **期日** 平成23年7月15日(金)
- 4 **会場** 佐渡市両津文化会館
- 5 **日程** 開会式 10:00～
基調講演 10:30～12:00
アトラクション 12:45～
事例発表 13:00～
上越地区、中越地区、新潟地区
閉会式 15:00～
- 6 **交通** ①平成22年度の佐渡汽船時刻表によると、直江津からの小水航路と寺泊からの赤泊航路は時間的に不都合です。
②新潟からの両津航路を利用する計画をお願いします。
③特に遠方になる地域の参加者は前泊ということも考えられます。

Net work

本誌「公民館月報」第一回編集委員会開催

本誌の紙面構成や特集記事執筆者等を検討する「編集委員会」が9月10日(金)に新潟市生涯学習センター(中央公民館)で開催されました。

今年度の編集委員は下記のとおりです。

	氏名	所属
1	内藤 薫	新潟県生涯学習推進センター副参事
2	小池 和美	上越市直江津地区公民館主任
3	星野 修美	魚沼市中央公民館長
4	鬼山 正生	刈羽村公民館長
5	堀 富雄	聖籠町公民館長
6	伊藤 義則	新潟市中央公民館主査
7	佐藤 武晴	新潟市新津地区公民館主査

全国公民館連合会 平成22年度「月刊公民館」編集委員は下記のとおりです。

	氏名	所属
1	加藤 雅晴	財団法人全日本社会教育連合会理事長
2	神崎 節生	社団法人全国公民館連合会副会長
3	近藤 真紀	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員
4	加藤 美幸	埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課
5	久保木宗一	月刊公民館読者・詩人
6	鈴木 友夫	元新潟県公民館連合会事務局長
7	中森美都子	国分寺市本多公民館長
8.	未 定	文部科学省生涯学習政策局社会教育課

あ と が き
事務局長のつばやき
先日、新潟市でタクシーに乗ったら「暑いですね」と運転手さん。ふだんの日中の利用客は雨の日が多いそうですが、今年は猛暑日が多く、炎天下を歩くのを避けるのか客が多いとのこと。
確かに、この日の私もわずかな距離を歩かずにタクシーに乗りました。
学校は夏休みが終わりましたが、県内のほとんどの中学校では休み明け直後の土日に体育祭を行うところが多いようです。本番もさることながら連日の猛暑の中、炎天下での練習はかなり厳しいでしょう。(田原)

農業・農村が日々の生活を支えています

農業・農村は、安全・安心な食料を安定的に供給するとともに、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的な機能を有しています。

本県農業・農村振興の取り組みに対する県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

新潟県市町村農業農村振興対策協議会

会長(村上市長) 大 滝 平 正

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609